

Conference Guide

for The 20th All-Japan High School Model-UN Qualifiers



Japan Council for Global Classrooms

第20回全日本高校模擬国連大会・予選会
参加者/引率教員の皆様へ

目次

Section I 大会概要

1.	大会の流れ.....	4
1-1	全日本高校模擬国連大会・予選会	
1-2	全日本高校模擬国連大会・本大会	
1-3	高校模擬国連国際大会	
2.	予選会当日の動き.....	5
2-1	タイムスケジュール	
3.	大会までの準備及び諸注意.....	6
3-1	会議中に使用可能なもの	
3-2	会議中の注意	
3-3	服装	
3-4	大会までに準備すること	
4.	大会参加にあたり.....	8
4-1	責任	
4-2	各種費用	
4-3	今後のご連絡	

Section II 会議概要

5.	会議への参加にあたり.....	10
6.	選考について.....	11
6-1	議場割について	
6-2	学校関係者の評議員の位置づけ	
6-3	選考基準について	
6-4	選考員	
6-5	選考結果の連絡について	

Section I

大会概要

1. 大会の流れ

1-1. 全日本高校模擬国連大会・予選会

日程：2026年9月12日(土)、13日(日)、20日(日)、21日(月・祝)のいずれか1日

場所：zoom

議題：児童労働：原因への包括的アプローチとサプライチェーン責任

Child Labour : A Comprehensive Approach to Root Causes and Supply Chain
Accountability

1-2. 全日本高校模擬国連大会・本大会

日程：2026年11月14日(土)～11月15日(日)

場所：国際連合大学(東京都渋谷区)

議題：AI時代における持続可能な開発：尊厳ある労働の推進と言語的多様性の保護

Sustainable Development in the Context of Artificial Intelligence : Advancing Decent Work
and Safeguarding Linguistic Diversity

1-3. 高校模擬国連国際大会

今年度の全日本高校模擬国連大会・本大会にて、最優秀賞(2組・4名程度)、優秀賞(2組・4名程度)、奨励賞(2組・4名程度)を受賞したチームは、2027年春に開催される高校模擬国連国際大会への参加資格を得ます。

最優秀賞・優秀賞・奨励賞を受賞したチームは「高校模擬国連国際大会への派遣支援事業」への参加資格を得る予定ですが、今後の財政状況により最優秀賞のみ、もしくは最優秀賞・優秀賞のみに限定させていただく可能性がございます。なお、事業においては、ニューヨークで開催予定の高校模擬国連国際大会だけでなく、前後の政策発表会(2027年3月を予定)、派遣報告会(2027年5月を予定)の全てにご参加いただきます。

弊協会は可能な限り多くの学校が国際大会に参加できるよう、「高校模擬国連国際大会への派遣支援事業」への参加は各学校につき1チームに限定しております。そのため、参加資格の優先順位は以下ようになります。

①最優秀賞②優秀賞③奨励賞④20回記念特別奨励賞

同一校から複数のチームが上位入賞を果たした場合、上記の優先順位で参加資格を付与するため、同校の優秀賞受賞チームの参加資格は、他校の受賞チームへ移行されます。

2. 予選会当日の動き

2-1. タイムスケジュール

《参加者用スケジュール》

9:20	zoom 開場
9:30	1st Session
12:30	昼食休憩
13:30	2nd Session
16:30	解散

(備考)

1. 全日程、同じスケジュールで行います。しかし、進行上の都合により終了時間が前後する可能性があることにご留意ください。
2. 出場者は、9:20~9:30 の間に指定された zoom(メールで別途配布)に入室するようにしてください。
3. 入室後、名前を「Japan_1」「Japan_2」のように変更してください。学校名及び名前を表示しないようご注意ください。
4. 各日程のプログラムが終了後は自由解散となります。
5. 解散後のレビュー会や交流会などは開催致しません。連絡先の交換等もお控えください。

3. 大会までの準備及び諸注意

3-1. 会議中に使用可能なもの

- 電子機器類（ノートパソコン、タブレット、電子辞書、USB メモリのみ）
- リサーチ資料
- メモ帳
- 筆記用具

3-2. 会議中の注意

【禁止事項】

- SNS の使用（ペア間での連絡を除く）
- 学校や自宅以外（カフェなど）からの参加
- **ペアで同じ部屋からの参加（ハウリング防止、参加条件の統一のため）**
- 会議の録画またはスクリーンショット
- 他チームとの SNS 等の連絡手段の交換

【注意事項】

- 疲れを感じた時は各自休憩をとってください。
- 例年、同一の部屋からの参加する大使が散見されます。やむを得ず、同一の部屋からの参加を希望される場合は事前にご相談ください。当日、同一の部屋からの参加が発覚した場合には当該大使を選考の対象から外す可能性がございます。

3-3. 服装

会議中は、大使としてふさわしい服装（制服等）にてご参加ください。

3-4. 大会までに準備すること

- パソコン（タブレット端末での参加も可能だが、パソコンを推奨）、カメラ及びマイクが正常に動作することを確認してください。デスクトップなどパソコン本体にカメラが搭載されていない場合は、別途カメラを設置してください。
- Wi-Fi 環境の整備（通信速度 15Mbps 以上を推奨）、Wi-Fi の通信速度を測定（<https://fast.com/>）して頂き、数値が 15Mbps 以上あるかをご確認下さい。快適に利用

できる数値目安は 30Mbps 以上です。スマートフォンによるテザリングもご利用頂いて構いませんが、容量制限を超えないよう十分注意してください。

4. 大会参加にあたり

4-1. 責任

- グローバル・クラスルーム日本協会は、関係団体とともに、今大会の円滑な実施に向け、体制準備及び安全管理につき、万全を期する所存です。しかしながら、その業務はあくまで大会主催のみであり、万が一の不測の事態が生じた場合の責任は、参加者各位に帰することとなりますので、予めご了承ください。

4-2. 各種費用

- 申込みに際し 1 チーム 3000 円、全日本高校模擬国連大会・予選会を通過したチームは追加で 1 チーム 7000 円の参加費をいただいております。振込方法等の詳細につきましては、メールをご確認ください。

4-3. 今後のご連絡

大会に関するご連絡につきましては、大会メーリングリスト、または当協会ホームページ内の大会参加者用ページを通じて行います。ご質問等がございましたら、参加者ページにて掲載されている第 20 回全日本高校模擬国連大会予選会 質問フォーム、もしくはグローバル・クラスルーム日本協会 HP の問合せページを通じてご連絡ください。また、電話での対応はしておりませんのでご注意ください。

Section II

會議概要

5. 会議への参加にあたり

我々はなぜ児童労働という議題に向き合うことが「できる」のでしょうか。我々はなぜ児童労働を相対化して話題にできるのでしょうか。

今回、議題として扱うのは「児童労働」です。児童労働という問題は国際社会において解決すべき問題としてあり続けています。その要因はひとえに、児童あるいは子どもという、世界で最も脆弱な人々が、過酷な労働に従事しているという、人道面の問題が経済的側面との兼ね合いから解決されずに残されている、という点に収束します。長年超克されていない機微なバランスの中で、担当国としてどのような立場を守り、あるいはあえて崩し、この難解な問題に取り組んでいくのか。機微のあるバランスを理解したうえで合意可能領域を探り、見極めることが必要とされる議題です。

我々が住む日本は先進国と分類されます。先進国の中にも経済的に困窮する「脆弱な人々（子供たち）」が存在していることを無視してはいけません。しかし、世界に目を向けるとその割合を大きく超える「脆弱な人々」がいます。正直、日常生活の中で、彼ら彼女らの生活を気にかける機会は少ないと思います。そんな彼ら彼女らの生活を相対化し、思いをはせながら、あるときは「絶対化」し、担当国の人々の気持ちになってみてください。きっと準備過程では多くのことをもたらしてくれるでしょう。

高校生活の短い3年間の一部を使って、このような問題に目を向けることができる模擬国連という活動への参加を決断していただき、感謝いたします。我々がこのような問題を「相対化」し、議論の対象として扱えること自体が、模擬国連という機会の価値の大きさを物語っているように思えます。

多くの先人たちが取り組み、解決のできなかったこの問題を、皆さんが対話と傾聴の精神を携え、どのように解決へと向かわせるのか。そして、その過程でどんな会議を創り上げてくれるのか。とても楽しみです。皆さんが悩み抜き、真剣に取り組み抜いた結果を、会議という形で拝見するのを楽しみにしています。

第20回全日本高校模擬国連大会・予選会

総会議監督 黒川睦

6. 選考について

6-1. 議場割について

応募数：135 校、204 チーム

国数：1 議場あたり 17 チーム

議場の振り分け方法：全国を 4 ブロックに分割（下記参照）し、日程調整を参照しながら各ブロックから均等かつ無作為に 12 議場(4 日程×3 議場)に振り分けております。

担当国割：無作為に割り当てたチーム ID を元にランダムに担当国を割り振りました。

※ブロックについて

A ブロック：東京都

B ブロック：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県

C ブロック：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県

D ブロック：奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

6-2. 学校関係者の評議員の位置づけ

2009 年度より教育現場の視点から助言いただくことを目的に、グローバル・クラスルーム日本協会の評議員として、模擬国連に取り組まれている公立・私立高校の先生方をお迎えいたしました。尚、大会の選考に関しまして評議員の学校関係者は一切関与しておりません。

6-3. 選考基準について

詳しくは「第 20 回全日本高校模擬国連大会 選抜・選考に関して」をご覧ください。

6-4. 選考員

各議場につき 3 名の選考員が公平に選考を行います。

6-5. 選考結果の連絡について

10 月上旬ごろにホームページ上で通過者を発表いたします。



主催：グローバル・クラスルーム日本協会

お問い合わせ先：jcgc.contact@gmail.com

発行年月日：2026年8月7日